

清水地区地域福祉活動計画

テーマ	大項目 目標	小項目 事業名等	年度					5年計画
			19	20	21	22	23	
やさえ合う福祉のまちや清水の輪	地区社協の 基盤整備	理事会・評議員会の開催	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	定数の検討、評議員の認識と自覚を周知する。(町内12地区から選出)町内会長の任期が短いケースもあり、困難である。定期的な開催と各方面から評議員選出を検討。現在、総会が評議員会となっている。
		各種団体との連携・協働	検討	充実	⇒	⇒	⇒	地区社協からの配分であることについての啓発。
		地区福祉だより発行	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	会費をいただいている世帯に配布しているという認識が低い。福祉講座開催のチラシなどで、社協についての啓発を実施。
		活動拠点整備	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	いきがい交流センターしみずを拠点として活動推進に努める。
		各種会則・規約の整備	検討	充実	⇒	⇒	⇒	清水デイサービス運営委員会からいきがい交流センターしみず運営委員会への移行に際し、規約の改正と構成役員について検討。
		いきがい交流センターしみず運営委員会の設置:執行部会(旧清水デイサービス運営委員会)	検討	充実	⇒	⇒	⇒	地区・市(行政も)・学校一緒に話し合える「いきがい交流センターしみず運営委員会」の立ち上げを実施。地区社協事業の運営やいきがい交流センターしみずの使用について検討。総会を年に一度開催し、各教室の世話人、協力会員の代表者にも出席の上、合意形成を促す。
		役員視察研修	検討 実施	⇒	充実	⇒	⇒	社協役員・協力会員・みまもり員と合同の研修旅行について、今後も、合同で行なうかどうかは要検討。地区社協の役員研修会としては実施できていない。親睦を深める機会になっている。集会式研修会と親睦研修会を分けて実施する必要がある。それぞれの立場での情報交換をするための集会の実施についても検討。名称についても検討。
		活動資金の財源確保(共同募金・寄付金)	検討	充実	⇒	⇒	⇒	共同募金が地区の福祉につながるという認識がないため、住民への理解を求めるとの方法を検討。共同募金を集める時期についても検討。 ※ 町連は270万円(固定)。民協は変動があり減少。清水地区社協としては430万円。活動資金を200万円にすることを目標。
		会費制度の推進	検討	充実	⇒	⇒	⇒	町内会一戸につき50円の会費を納めてもらっているが、町内会費から出されているため、社協会員である認識がない。社協会員である認識の啓発と会費の徴収方法と金額を検討。
	福祉学習と ボランティア (団体)の育成	小中学校との福祉交流事業	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	今後も清水小学校との交流事業は友達しみず・協力会員を核に実施。今後も、民生委員が各校の地域集会に参加。
		福祉学習事業(福祉講座)	検討	充実	⇒	⇒	⇒	一般住民の参加への啓発促進を行ない、適切な講座開催に努める。公民館・関係団体との共催開催の検討。福祉講座を機会に、地区住民への啓発を実施。
		協力会員総会(研修)	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	地区社協の役員研修会と合同で実施。月1回連絡会を開催。

清水地区地域福祉活動計画

テーマ	大項目 目標	小項目 事業名等	年度					5年計画
			19	20	21	22	23	
させえ合う福祉のまちや清水の輪	在宅福祉 生きがい 介護予防 サービス	生きがいデイサービス友遊しみず	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	現在は週2回開催しているが、今後のあり方について開催方法や内容についていきがい交流センターしみず運営委員会と連動した事業運営に努める。さらに孤立予防や閉じこもり予防など地域の居間としてさらに活用していく。
		ふれあい教室	検討	充実	⇒	⇒	⇒	参加費から徴収している運営費100円、その他の運営費900円についても、地区社協がふれあい教室会計として一括し、分配するかたちに行えるよう検討。ただし、教室の参加者数により偏りがあるため、分配方法については協議が必要。 ※ いきがい交流センターしみず運営委員会での総会を行ない合意形成を促す。教室の継続については、利用者や講師にふれあい教室の趣旨を理解していただき、1年ごとに見直ししていく。市社協の趣味講座とふれあい教室のあり方についてもいきがい交流センターしみず運営委員会と連動し検討する。
		ふれあい・いきいきサロン運営事業(高齢者対象)	検討	充実	⇒	⇒	⇒	現在は8区の「ファミリーサロン」のみ1ヶ所(月2回)。講師等の協力者の発掘。増設については状況を調査し検討(姫山方面)。
		清水地区協力会員協議会	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	今後も、月1回協力会員連絡会を実施。協力会員の立場を明確化する必要あり。
		一人暮らし高齢者訪問、ねたきり高齢者への支援	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	年齢については実態をみて検討。70歳以上の方への訪問にはどうか。一人当たり500円の商品券を配布しているが、これから高齢者の増加を考え、容をかねての配布または配分金の廃止も視野に入れて検討。
		地区別敬老会への協力	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	社協助成金42万円。地区社協からの配分であることを啓発。
		障害者支援体制の構築	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	在宅の障害者の情報・実態の調査。情報公開について市との話し合いを進める。
	関係機関との ネットワーク	しみず祭の開催	検討	充実	⇒	⇒	⇒	毎年4月、開設日に近い休日に開催。5年ごとに記念企画として実施する。毎年実行委員会を立ち上げ企画運営をおこなう。5年ごとの開催時には学校との連携を考える。
		広報・民協との協働	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	民生児童委員にとって、共同募金の業務が負担となっているため、共同募金への理解を促す。
		町内会連合会	検討	充実	⇒	⇒	⇒	民協と町内会の活動の明確化。町内会長へ社協活動の理解をいただくため、事業説明等の実施を検討。
		町内会・民協・社協との合同研修会	検討	充実	⇒	⇒	⇒	社協役員・町内会・民協・公民館の合同会議・協議の場の開催。役割分担の明確化を協議し、地区内の連携の強化を図る。
		介護相談員派遣事業	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	特養姫原への派遣事業の継続。ふれあい教室やデイサービスの訪問交流の検討及び実施。相談員の任期について検討。他の施設への訪問(受入れ)についての検討。在宅への派遣について検討。
		高齢クラブ支援	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	地区社協からの配分であることについて啓発。現在、7団体に3万円ずつ(21万円)助成。
		児童青少年育成への協力	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	公民館活動とのタイアップと協力。町内会・学校との連携強化。児童クラブ3万円ずつ(清水・姫山)や子ども会へ1万円ずつ(10団体)への助成金の額について検討。地区社協からの配分であることについての啓発。
各種団体助成金	検討	充実	⇒	⇒	⇒	基準の明確化と整理。		

清水地区地域福祉活動計画

テーマ	大項目 目標	小項目 事業名等	年度					5年計画
			19	20	21	22	23	
		地域包括支援センター勝山との連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	情報提供・相談など連携機能の充実。毎月2回清水公民館といきがい交流センターしみずに相談窓口を設置。
		しみず子育てサロン(仮称)の構築	検討	実施	充実	⇒	⇒	子育ての悩みに対し、どのように地区で取り組んでいくか⇒子育てサロン。専門的知識をもった人(小児科医・保健師など)が関わった方が望ましい。しみずだからこその取り組みをしていきたい。実現に向けて検討する。